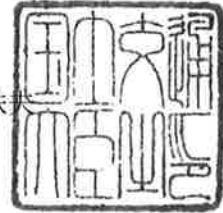


# 認定書

国住参建第 4551 号  
令和 5 年 3 月 22 日

吉野石膏株式会社  
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 46 条第 4 項表一の（八）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
FRM-0734
2. 認定をした構造方法等の名称  
厚 9.5mm 軽量両面ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板／めっき鉄丸く  
ぎ NZ50／外周部@75mm、中通り@150mm／受材留め付け間隔 N90@150mm／大壁造  
の入隅仕様／木造軸組耐力壁における構造方法
3. 認定をした構造方法等の内容  
2.7 の倍率を有する軸組と同等以上の耐力を有する軸組  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別添

1. 構造方法の名称

厚 9.5mm 軽量両面ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板／めっき鉄丸くぎ NZ50／外周部  
@75mm、中通り@150mm／受材留め付け間隔 N90@150mm／大壁造の入隅仕様／木造軸組耐力壁

2. 構造の概要

(1) 面材の概要

a) 面材の名称

軽量両面ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板

b) 面材の構成及び組成

面材の断面図を図1に示す。また、その構成材及び組成を表1に示す。

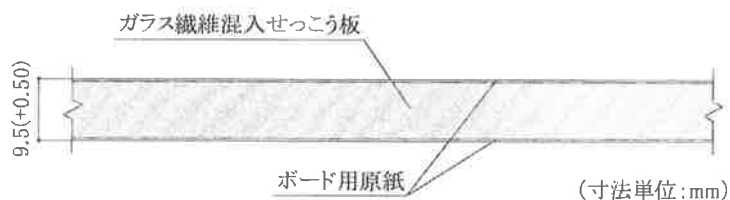


図1 面材の断面図

表1 構成材及び組成

<p>表裏面材： ボード用 原紙</p>	<p>組成などは社外秘とさせていただきます。</p>
<p>芯材： ガラス繊維 混入せっこう 板</p>	<p>組成などは社外秘とさせていただきます。</p>

c) 寸法

	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)
寸法	9.5	900~1000	1800~4500
許容差	0~+0.5	±2.5	0~+5

d) 側面加工形状

図2に示すベベルエッジ又はスクエアエッジとする。

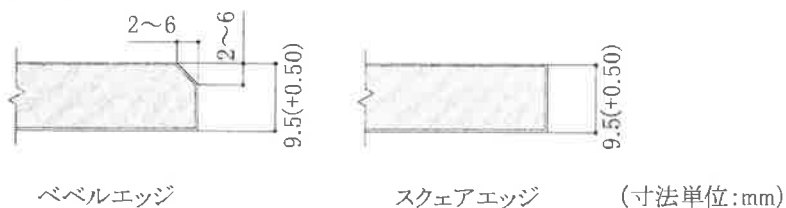


図2 側面加工形状断面図

e) 品質の基準

面材は、国土交通大臣の認定を取得した面材（認定番号：QM-0954-1）に対し、面材の厚さの範囲を制約している。

性能：（試験方法はJIS A 6901：2014による。）

含水率 (%)	曲げ破壊荷重 (N)		単位面積当たりの質量 (kg/m <sup>2</sup> )
	長さ方向	幅方向	
3以下	500以上	200以上	6.84~8.36

外観：軽量両面ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板の両面及び側面には、使用上有害な欠け、割れ、汚れ、きずなどがあってはならない。

## (2) 軸組材の仕様概要

部 位		寸 法 等
柱、土台、胴差、桁、梁	断面寸法	見付け 105mm×見込み 105mm 以上
継手間柱	断面寸法	見付け 45mm×見込み 105mm 以上
間柱	断面寸法	見付け 27mm×見込み 105mm 以上
胴つなぎ	断面寸法	見付け 60mm×見込み 45mm 以上
受材	断面寸法	見付け 45mm 以下×見込み 40mm 以上
柱の間隔	1 枚張り	900mm～2000mm
	縦継ぎ張り	900mm～1820mm
面材の継手となる継手間柱と柱の間隔	1 枚張り	900mm～1000mm
	縦継ぎ張り	900mm～910mm
間柱と柱又は間柱と継手間柱の間隔	1 枚張り	450mm～500mm
	縦継ぎ張り	450mm～455mm
横架材間の内法寸法	1 枚張り	1390mm 以上 4025mm 以下
	縦継ぎ張り	下側面材長さ 1820mm の場合：2620mm 以上 4395mm 以下 下側面材長さ 2730mm の場合：3005mm 以上 4395mm 以下 下側面材長さ 3030mm の場合：3455mm 以上 4395mm 以下

## (3) 接合具の仕様

規格名称：くぎ  
規格番号：JIS A 5508:2009  
種 類：めっき鉄丸くぎ  
呼 び：NZ50

## (4) その他の仕様 (受材の接合具)

規格名称：くぎ  
規格番号：JIS A 5508:2009  
種 類：鉄丸くぎ  
呼 び：N90

### 3. 耐力壁の適用範囲

- (1) 当該面材を使用した耐力壁の適用範囲は、建築基準法施行令第40条から第49条（ただし、第48条第2項は除く）に準拠した木造軸組とする。
- (2) 当該耐力壁は、外周壁の屋外側下地材、室内側下地材及び内部壁の下地材に用いるものとする。当該耐力壁を外周壁の屋外側下地材として用いる場合は、防水紙その他適切な防水措置を講じるものとする。
- (3) 建築基準法施行令第46条第4項の表1に定める軸組又は昭和56年建設省告示第1100号に定める軸組を併用する場合は、倍率の数値5を限度としてそれぞれの倍率の数値を加算できるものとする。

### 4. 耐力壁の施工仕様の概要

#### (1) 軸組材

- ①柱、横架材（土台、胴差、桁、梁）の断面寸法は見付け105mm×見込み105mm以上とする。
- ②間柱の断面寸法は見付け27mm×見込み105mm以上とする。
- ③面材の横方向の継手となる継手間柱の断面寸法は見付け45mm×見込み105mm以上とする。
- ④面材の縦方向の継手となる胴つなぎの断面寸法は見付け60mm×見込み45mm以上とする。
- ⑤入隅部の面材を留め付ける受材の断面寸法は見付け45mm以下×見込み40mm以上とする。
- ⑥柱の間隔について、1枚張りの場合は900mm以上2000mm以下、縦継ぎ張りの場合は900mm以上1820mm以下とする。
- ⑦面材の継手となる継手間柱と柱の間隔について、1枚張りの場合は900mm以上1000mm以下、縦継ぎ張りの場合は900mm以上910mm以下とする。
- ⑧間柱と柱又は間柱と継手間柱の間隔について、1枚張りの場合は450mm以上500mm以下、縦継ぎ張りの場合は450mm以上455mm以下とする。
- ⑨面材が取り付く胴つなぎは、下部面材の下端から1820又は2730mm又は3030mmの位置（胴つなぎ芯）に取り付ける。
- ⑩横架材間の内法寸法について、1枚張りの場合は1390mm以上4025mm以下、縦継ぎ張りの場合は2620mm以上4395mm以下とする。

#### (2) 面材の割付

面材は軸組に直張りとし、張り方は横架材間に胴つなぎを設けて2枚の板で縦継ぎ張りとするか、または1枚の板で縦張りとする。ただし、2枚の板で縦継ぎ張りとする場合、下側の面材の長さが1820mmで上側の面材の長さが860mm～2635mm、下側の面材長さが2730mmで上側面材長さが335mm～1725mmまたは下側の面材の長さが3030mmで上側の面材の長さが485mm～1425mmとする。いずれも面材のかかり代が最小の場合の値を示す。

(3) 面材の留め付け

- ①面材は、めっき鉄丸くぎ NZ50 を用いて、面材の外周部ではくぎ相互のマーキング間隔を 75mm (マーキングからのずれの許容差:  $\pm 8\text{mm}$ ) 以下で柱、横架材、受材、継手間柱、胴つなぎに、面材の中通りの部分ではくぎ相互のマーキング間隔を 150mm (マーキングからのずれの許容差:  $\pm 15\text{mm}$ ) 以下で間柱に留め付ける。ただし、面材端部に間隔の狭い箇所が集中するような極端な配置とにならないようにする。
- ②くぎが有効に作用するように、面材の端部とくぎとの間隔 (へりあき距離) は、横架材及び胴つなぎでは 15mm (許容差:  $\pm 3\text{mm}$ )、柱、継手間柱および受材では 12mm (許容差:  $\pm 2\text{mm}$ ) とする。
- ③面材の外周部及び中通りの部分におけるくぎ本数について、面材の長手方向及び短手方向の辺長 (H、L) からへりあき距離 ( $H_1+H_2$ 、 $L_1+L_2$ ) を減じた長さ ( $H-(H_1+H_2)$ 、 $L-(L_1+L_2)$ ) を算出し、その長さを各部のくぎ間隔 (P、Q) で除する。  
外周部のくぎ本数はその値の小数第一位を切り上げて 1 を加えた値とし、中通りの部分のくぎ本数はその値の小数第一位を切り上げて 1 を減じた値とする。  
なお、図 3 に示す通り、面材四隅のくぎは長手・短手両方向のくぎ本数として数えることとするが、中通りの部分と外周部のくぎを結ぶ直線上のくぎは、中通りの部分のくぎ本数として数えないものとする。また、くぎ本数の一覧を表 2 に示す。  
ここで、L は 832mm~1000mm のいずれかの値、H は耐力壁の施工仕様に応じた下側もしくは上側の面材の長さの値、 $H_1$  及び  $H_2$  は 15mm、 $L_1$  及び  $L_2$  は 12mm、P は 75mm、Q は 150mm とする。
- ④面材のかかり代は、柱は 45mm 以上、土台、梁、胴差および桁は 30mm 以上、継手間柱は 20mm 以上、受材は 30mm 以上、胴つなぎは 30mm 以上とする。
- ⑤くぎ留めは、面材に表示されたくぎ留めの位置に従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等した後にくぎ留めする。
- ⑥面材の継手部は縦方向および横方向とも突き付けとなるようにする。
- ⑦くぎは、面材表面に面一になるように留め付ける。

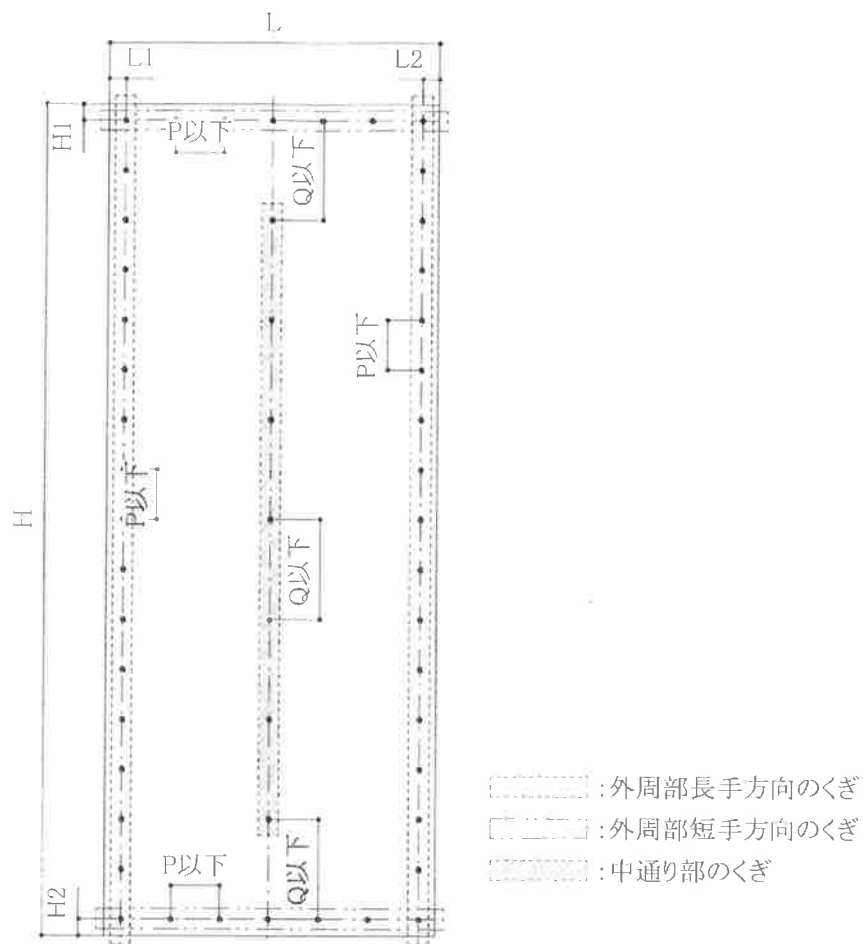


図3 各部のくぎ本数

表2 くぎ本数一覧

項目	仕様	
面材と軸組	種類 : めっき鉄丸くぎ NZ50	
	間隔 : 外周部間隔 75mm 以下 中通り間隔 150mm 以下	
	面材長辺からの縁端距離 柱・受材・継手間柱位置 12mm 面材短辺からの縁端距離 胴つなぎ位置 15mm 横架材位置 15mm	
	本数 : 面材外周部 短手方向長さ	832mm 以上 849mm 以下 12本
		849mm 以上 924mm 以下 13本
		924mm 以上 999mm 以下 14本
		999mm 以上 1000mm 以下 15本
	面材外周部 長手方向長さ 縦継ぎ張りの上側面材	335mm 以上 405mm 以下 6本
		405mm 以上 480mm 以下 7本
		480mm 以上 555mm 以下 8本
		555mm 以上 630mm 以下 9本
		630mm 以上 705mm 以下 10本
		705mm 以上 780mm 以下 11本
		780mm 以上 855mm 以下 12本
		855mm 以上 930mm 以下 13本
		930mm 以上 1005mm 以下 14本
		1005mm 以上 1080mm 以下 15本
		1080mm 以上 1155mm 以下 16本
		1155mm 以上 1230mm 以下 17本
		1230mm 以上 1305mm 以下 18本
		1305mm 以上 1380mm 以下 19本
		1380mm 以上 1455mm 以下 20本
		1455mm 以上 1530mm 以下 21本
		1530mm 以上 1605mm 以下 22本
		1605mm 以上 1680mm 以下 23本
		1680mm 以上 1755mm 以下 24本
		1755mm 以上 1830mm 以下 25本
		1830mm 以上 1905mm 以下 26本
		1905mm 以上 1980mm 以下 27本
		1980mm 以上 2055mm 以下 28本
		2055mm 以上 2130mm 以下 29本
		2130mm 以上 2205mm 以下 30本
		2205mm 以上 2280mm 以下 31本
2280mm 以上 2355mm 以下 32本		
2355mm 以上 2430mm 以下 33本		
2430mm 以上 2505mm 以下 34本		
2505mm 以上 2580mm 以下 35本		
2580mm 以上 2635mm 以下 36本		
縦継ぎ張りの下側面材	1820mm 25本	
	2730mm 37本	
	3030mm 41本	
1枚張りの面材	1450mm 以上 1455mm 以下 20本	
	1455mm 以上 1530mm 以下 21本	
	1530mm 以上 1605mm 以下 22本	
	1605mm 以上 1680mm 以下 23本	
	1680mm 以上 1755mm 以下 24本	
	1755mm 以上 1830mm 以下 25本	
	1830mm 以上 1905mm 以下 26本	
	1905mm 以上 1980mm 以下 27本	
1980mm 以上 2055mm 以下 28本		
2055mm 以上 2130mm 以下 29本		



2130mm	以上	2205mm	以下	30本
2205mm	以上	2280mm	以下	31本
2280mm	以上	2355mm	以下	32本
2355mm	以上	2430mm	以下	33本
2430mm	以上	2505mm	以下	34本
2505mm	以上	2580mm	以下	35本
2580mm	以上	2655mm	以下	36本
2655mm	以上	2730mm	以下	37本
2730mm	以上	2805mm	以下	38本
2805mm	以上	2880mm	以下	39本
2880mm	以上	2955mm	以下	40本
2955mm	以上	3030mm	以下	41本
3030mm	以上	3105mm	以下	42本
3105mm	以上	3180mm	以下	43本
3180mm	以上	3255mm	以下	44本
3255mm	以上	3330mm	以下	45本
3330mm	以上	3405mm	以下	46本
3405mm	以上	3480mm	以下	47本
3480mm	以上	3555mm	以下	48本
3555mm	以上	3630mm	以下	49本
3630mm	以上	3705mm	以下	50本
3705mm	以上	3780mm	以下	51本
3780mm	以上	3855mm	以下	52本
3855mm	以上	3930mm	以下	53本
3930mm	以上	4005mm	以下	54本
4005mm	以上	4080mm	以下	55本
4080mm	以上	4085mm	以下	56本

面材中通り 長手方向長さ  
縦継ぎ張りの上側面材

335mm	以上	480mm	以下	2本	または	3本
480mm	以上	630mm	以下	3本	または	4本
630mm	以上	780mm	以下	4本	または	5本
780mm	以上	930mm	以下	5本	または	6本
930mm	以上	1080mm	以下	6本	または	7本
1080mm	以上	1230mm	以下	7本	または	8本
1230mm	以上	1380mm	以下	8本	または	9本
1380mm	以上	1530mm	以下	9本	または	10本
1530mm	以上	1680mm	以下	10本	または	11本
1680mm	以上	1830mm	以下	11本	または	12本
1830mm	以上	1980mm	以下	12本	または	13本
1980mm	以上	2130mm	以下	13本	または	14本
2130mm	以上	2280mm	以下	14本	または	15本
2280mm	以上	2430mm	以下	15本	または	16本
2430mm	以上	2580mm	以下	16本	または	17本
2580mm	以上	2635mm	以下	17本	または	18本

縦継ぎ張りの下側面材

1820mm				11本	または	12本
2730mm				17本	または	18本
3030mm				19本	または	20本

1枚張りの面材

1450mm	以上	1530mm	以下	9本	または	10本
1530mm	以上	1680mm	以下	10本	または	11本
1680mm	以上	1830mm	以下	11本	または	12本
1830mm	以上	1980mm	以下	12本	または	13本
1980mm	以上	2130mm	以下	13本	または	14本
2130mm	以上	2280mm	以下	14本	または	15本
2280mm	以上	2430mm	以下	15本	または	16本

	2430mm 以上 2580mm 以下 16本 または 17本
	2580mm 以上 2730mm 以下 17本 または 18本
	2730mm 以上 2880mm 以下 18本 または 19本
	2880mm 以上 3030mm 以下 19本 または 20本
	3030mm 以上 3180mm 以下 20本 または 21本
	3180mm 以上 3330mm 以下 21本 または 22本
	3330mm 以上 3480mm 以下 22本 または 23本
	3480mm 以上 3630mm 以下 23本 または 24本
	3630mm 以上 3780mm 以下 24本 または 25本
	3780mm 以上 3930mm 以下 25本 または 26本
	3930mm 以上 4080mm 以下 26本 または 27本
	4080mm 以上 4085mm 以下 27本 または 28本

(4) その他の施工仕様

入隅部では、受材を鉄丸くぎ N90 (JIS A 5508 : 2009) を用いてくぎ相互の間隔を 150mm 以下で柱に留め付ける。なお、受材と軸組材 (横架材、胴つなぎ) との隙間は各受材の上下合計で 3mm 以下とする。

(5) 施工図

施工図を図 4～図 8 に示す。

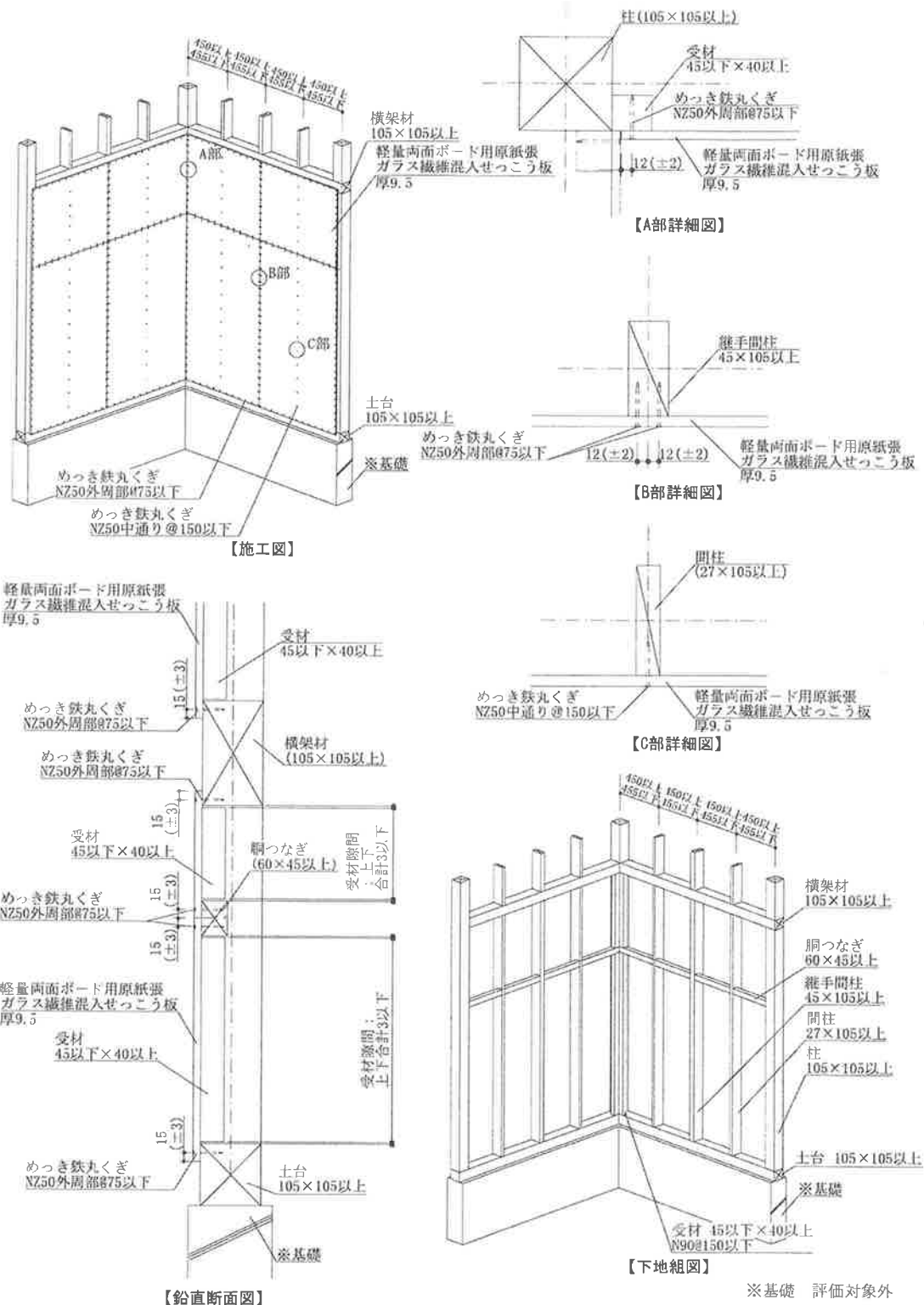


図4 施工詳細図：縦継ぎ張りの場合 (寸法単位：mm)

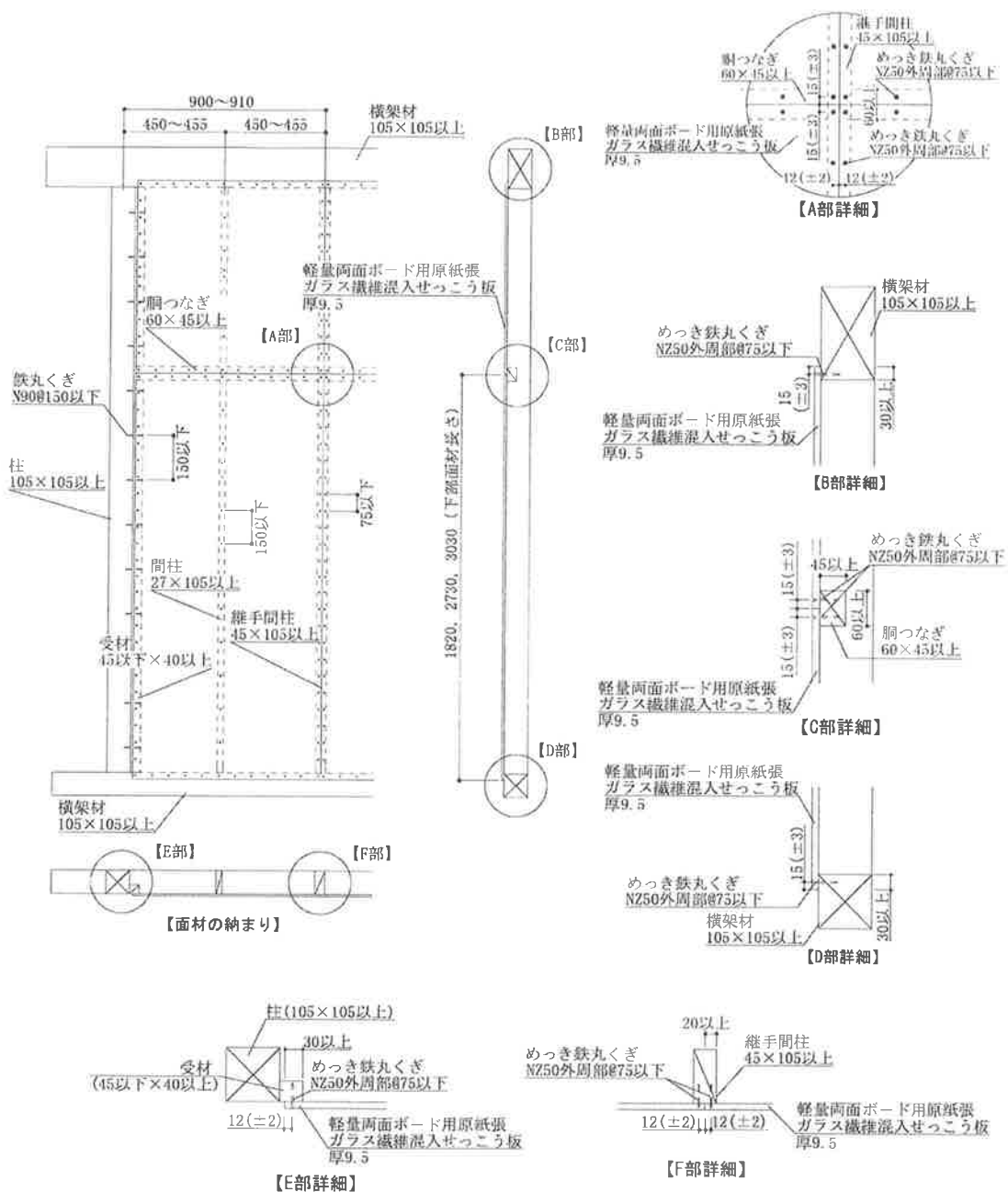


図5 施工図：縦継ぎ張りの場合 (寸法単位：mm)

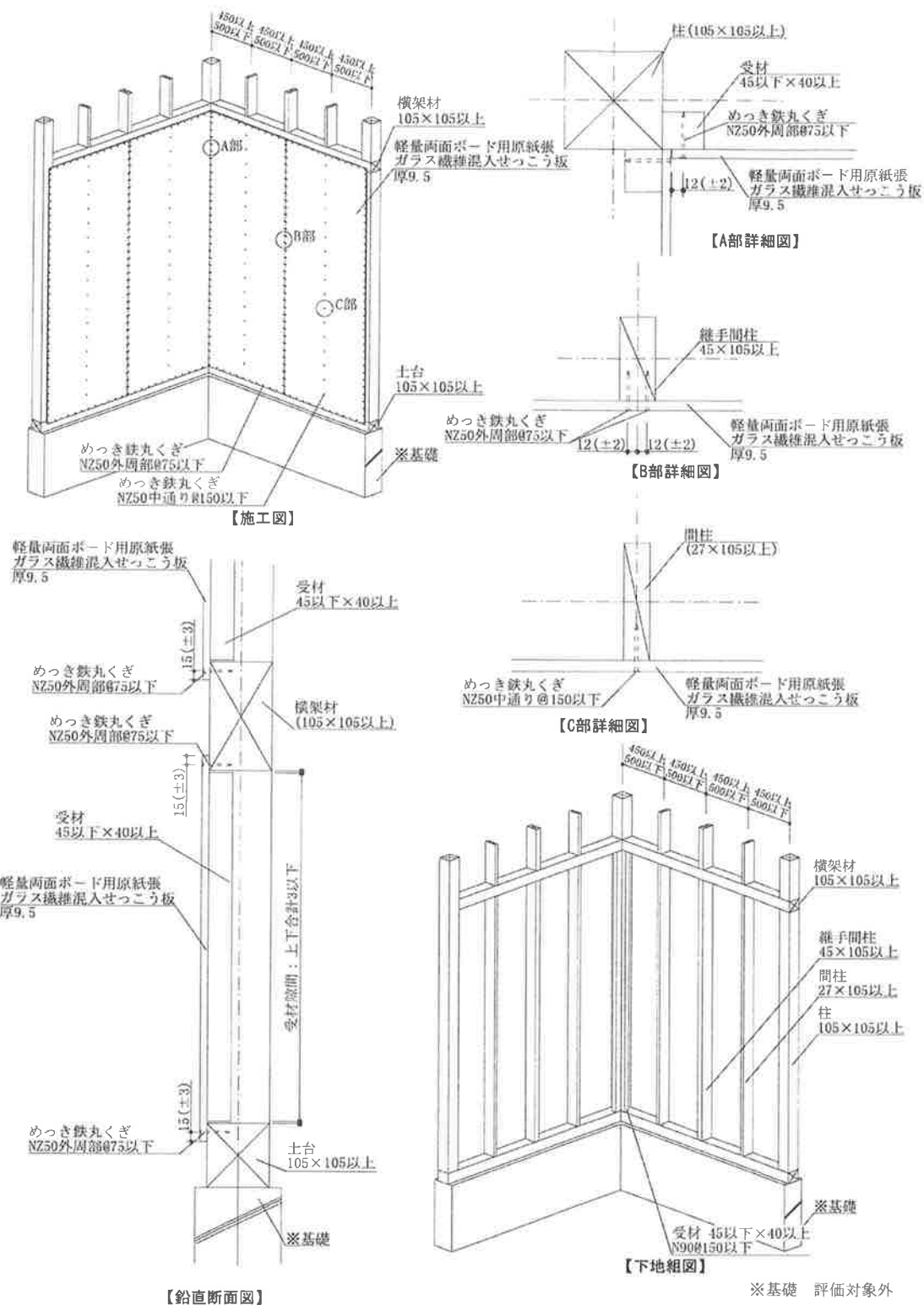


図6 施工詳細図：1枚張りの場合 (寸法単位：mm)

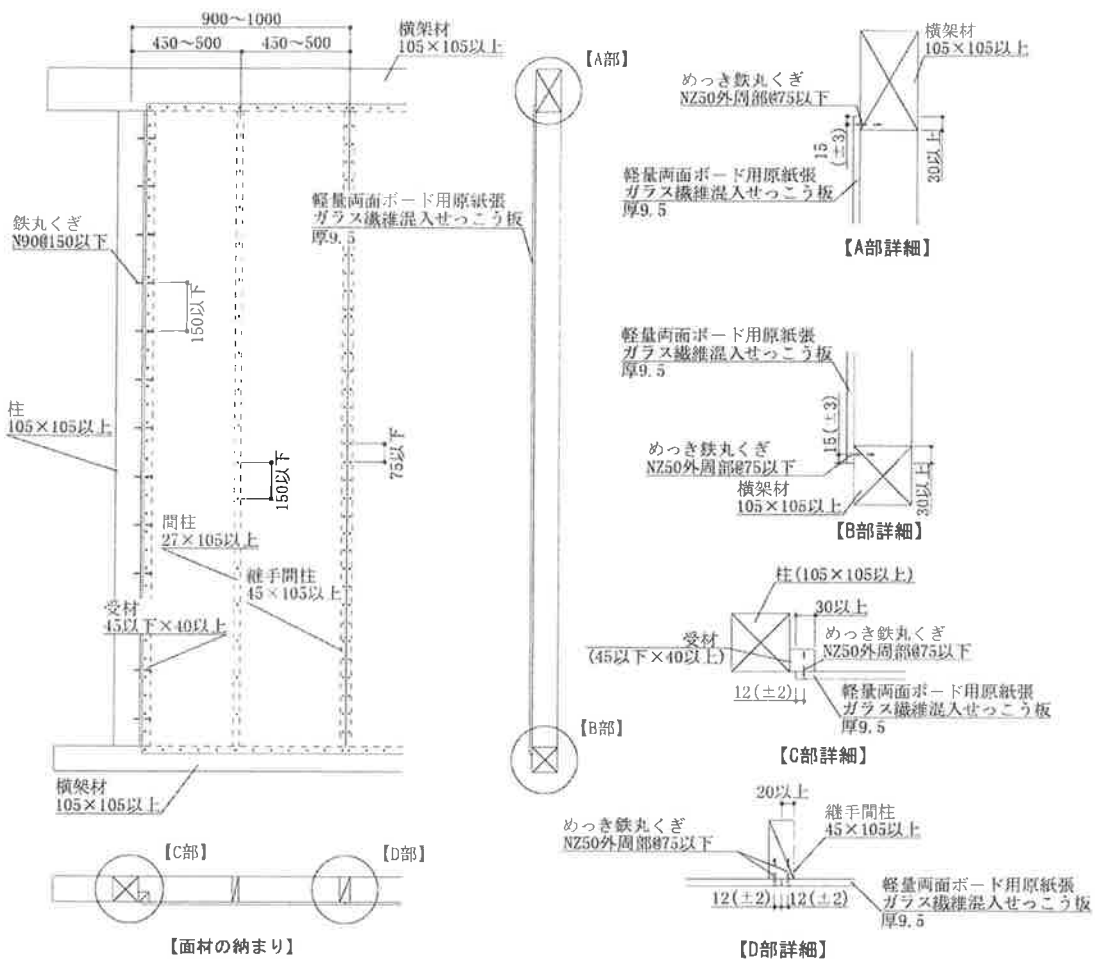


図7 施工図：1枚張りの場合 (寸法単位：mm)

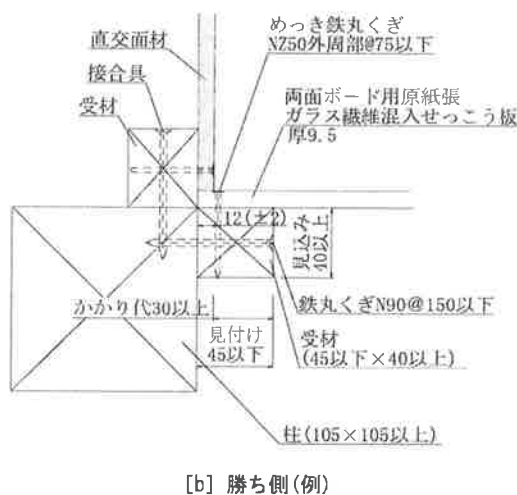
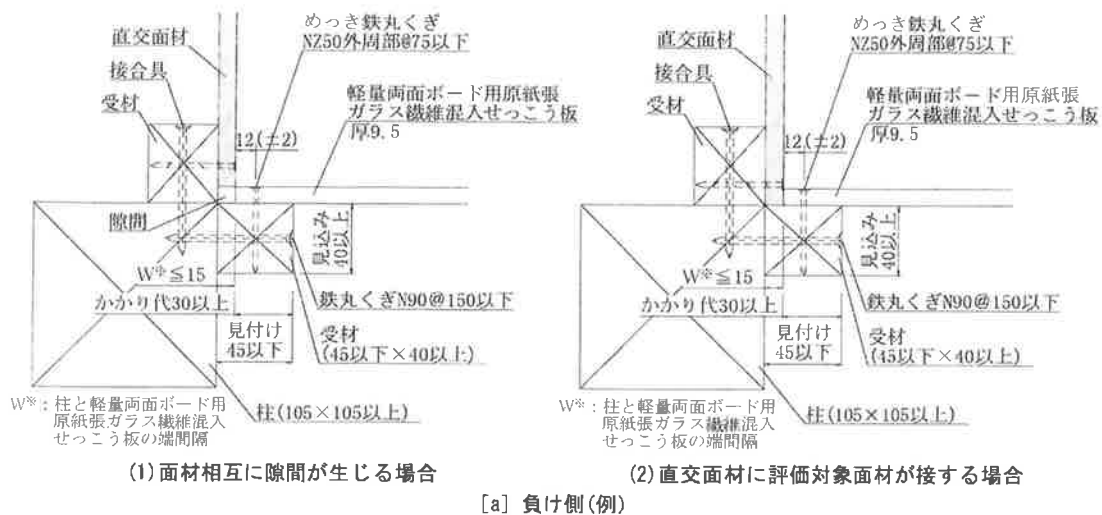


図8 施工図：入隅部 (寸法単位：mm)